

○横浜薬科大学 図書館利用・論文検索に参加した生徒から横浜薬科大学の方へのお礼と感想

2年 T.Iさん

本日は横浜薬科大学の図書館を使用させていただきありがとうございました。

今回、初めて大学図書館を利用しました。目的の本「タンパク質の一生」は見つけることができませんでした。気になる本(生命科学クライシス、実践医薬品安全性学、サプリメントの正体、60分でわかる遺伝子の科学)を何冊か見つける事ができました。5~8階の論文コーナーでは、気になる論文を手にとり読んでみましたが、高校2年生の私は、何日もかけてようやく数ページ進めるかどうかというほど難しく感じました。しかし、調べたいことを明確にして、学ぶ意識を持って読めるようになれば、さらに詳しく掘り下げることが出来るだろうと実感しました。

論文検索用のパソコン利用は、蔵書検索とHPのみでしたが、自分で読みたい論文が出たときに論文検索もできるように使用方法を習得してみたいと感じました。蔵書数が多く、目的の本を探すこと自体が大変でした。今後に向けて慣れておくことも必要だと感じました。

薬草園も見学させていただきありがとうございました。薬草園では朝鮮人参やバナナといった果物の他、アマチャやステビア等の親しみ深いものからマジョラムやアーチチョーク等の見かけた事はあるが薬効や用途は知らないものまでありました。特にバナナは温暖な地域でのみでしか育てることができないと思っていたので、少し驚きました。バナナを薬(解熱や解毒)として利用する際には、完熟する必要がないのか、品種を確認する必要があるのかなど、いつも見ているバナナがとても気になりました。

書物も薬草も一時間半程度では満足な知識にならないことを実感しました。他の本や論文検索、読んだ本の続きを読みたいです。4月以降、機会がありましたら横浜薬科大学の図書館・薬草園を再び利用させていただきたいです。よろしく願いいたします。

2年 A.Tさん

今回は横浜薬科大学の図書館を利用させていただきました。入館してすぐに本の多さ、管理の徹底さに驚きました。私は1階、5階を主に見て回りました。1階には本やパソコンがあり薬学だけでなく、物理学生物学食品系の本などさまざまな本が並べてありました。気になった本を1冊手に取り長い時間読んでいましたが、内容を理解するのに時間がかかってしまい多くのページ数を残し時間が終了してしまいました。本を使いある程度入試に向けて知識をつけておこうという考えで臨みましたが、易しいことではありませんでした。ある程度知識がないと本を読むスピードがあったとしても見るだけでその日のうちに理解できるかがわかりません。大学図書館の蔵書は、それだけ専門性に長けているということです。決してそこにある本全てが専門性に満ち溢れているわけではなく、もちろん基礎学力を身につけようといった本もありました。読書の基礎力が上がれば、今日読んでいた本をより早く読むことができたかもしれません。それでも横浜薬科大学で読める専門性に長けている本が読みたかったため、専門書をずっと読んでいました。

5階の論文コーナーは、内容を語る前に本を管理するための設備にまず驚きました。5階は1階より涼しく、空気清浄機が設置されていました。出来るだけ良い環境下に本を置き長持ちするように工夫されていました。5階の論文は日本語がほとんどで、手に取って読むことができました。6階から8階は、英語の論文が多くあり自分の学力では読解できませんでした。英語の先生から「自分たちも知らない単語がよく出てくるから難しいよ」と言われました。大学の教授は専門に長けているイメージがありましたが、図書館で見た英語の論文を見ると、これを理解し読む人がいるから置いてあると考えられます。つまり、この論文を読む教授や学生には、語学力もあるということが理解できました。理系大学の教授は専門の研究だけでなく、それ以外の教科や語彙力も私の想像以上なのだと思います。図書館に来て使い方や見方を教わるのができたらいいなと思っていましたが、大学の図書館に置いてある本の価値や研究を進めている教授の凄さも知ることができました。また機会があれば大学図書館で読書と論文検索の理解を深めたいです。図書館を利用させていただきありがとうございました。